



聖徒のための情報誌

今月号の内容

- お盆の意義(1面)
- 霊断師養成講習会報告(2面)
- 暑中お見舞い(3・4面)
- 法華経のお話③(5面)
- よろこび佛教語解説・日蓮大聖人の歩まれた道(6面)

平成23年(2011年)8月1日(月) 8月号

発行所 〒873-0002 大分県杵築市南杵築1539番地 妙経寺内

日蓮宗霊断師会

会長 新聞 智雄
 日蓮宗霊断師会事務局
 電話 0978-62-3570
 FAX 0978-62-3571
 編集人 松本 恵昌
 購読料 1部 105円
 毎月1回1日発行
 日蓮宗霊断師会ホームページ
<http://www.yorokobi-reidanshikai.jp>
 よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp



まだ一般家庭に自動車普及していない頃の記憶です。暑い陽射しの中、日傘をさし、隣村から一軒一軒歩いてお盆参りをされているお坊さんがおられました。今、車社会を当然として生活する私たちには想像のできない事ですが、先人は誰れもこのようにお盆を勤め、供養の大切さを今日に伝承して来たことを肝に銘じなければなりません。

また一方、家庭では、お盆月にはお墓の掃除、墓前には青々とした竹で花筒を作り、花を供える。十三日の夕刻、薄暗くなる時分を待つて明りを灯しお墓参り。心の中で、「ご先祖さま、お盆のお迎えに……とお迎えの挨拶。無論返ってこない一方的な対話であっても、この習慣が我が家での迎え盆の光景でした。

もう今では父も母も迎えられる方になりましたが、そうであればこそ

『お盆の意義』

七月、八月は全国各地でお盆の行事が行われる。日本人の亡き人を追慕する素晴らしい「お盆」という伝統をどの様に後世に信仰心として引き継いでいくか、その大切な心の在り様を総合研究所教育部長廣田学良師に解説して頂いた。

総合研究所教育部長 廣田 学良

猶更に先祖を身近かに思い、合わせて恩に報じえなかつた申しわけなさも押しよせて来ます。

日蓮大聖人さまの御書を拝読いたしましても、法難のご生涯が知恩報恩にあられたことが心肝にしみ、ことに晩年身延山のご草庵で認められた御書には、故郷房州への郷愁とともに、亡きご両親への追慕追善の情が切々と綴られています。

いずれにしてもお盆は先祖をはじめ、亡き夫、亡き妻、亡き子とともに過ごす時間、どのように時代が遷り変わっても、ありし日の生者と死者を結ぶ語らいの風景と言えます。

さて、お盆の由来を改めてたずねますと、語源は梵語のウランバーナを音写したもので、正確には盂蘭盆さかさ吊りの苦しみを意味したものとあります。

その歴史は遙かお釈迦さまの時代、智慧第一の舍利弗尊者と並ぶ目連尊者が神通力を体得され、亡き母にこの喜びを伝え、恩に報じたい一心で母の行方を探すところから始まります。尊者の出家「シャモン」への旅立ちを心から祝福し、涙ながらに送り出してくれた母。

その母は尊者一人にとっては世界一のお母さんであつたに違いありません。

「きつと母は慈悲深い菩薩界におられるであろう」その期待に胸をふくらませ、菩薩界をご覧になりましたが母はいません。ようやく探しあてた所は餓鬼の世界。生前とはうって変つた哀れな母の姿でした。大聖人さまはその様子を『盂蘭盆御書』に次のようにお示しになられています。

「餓鬼道と申すところに我が母あり。のむ事なし食ふことなし。……先



生の子をみてなかとするすがた、うへたるかたち、たとへをとるに及ばず。いかにかなしかりけん。」

尊者は母を悲しみ、神通力で飯をさし上げますが、飯は火になり母の身を焼いてしまいます。あわてて水をかければ、水は薪となって火を増し燃え上がります。尊者は神通力の叶わざることを悟り、お釈迦さまにすくい道を求めます。

「汝が母はつみふかし、汝一人が力及ぶべからず……七月十五日に十方の聖僧をあつめて百味飲食をととのへて、母の苦はすくうべし。」

尊者はお釈迦さまの仰せに従い、饑餓の科「無慈悲で欲ばり」で苦しむ母をすくうことができたのでした。この故事がお盆の始まりであると大聖人さまは教えておられます。

しかしなぜ立派な聖者が母の恩に報いることができなかったのでしょうか。大聖人さまは、尊者が小乗の教えを信じていたがためであると、その理由が小乗の教えにあつたことを指摘されています。

「詮するところは目連尊者が自身のいまだ佛にならざるゆへぞかし。自身佛にならずしては父母をだにもすくいがたし。」

その後尊者は霊山八年の法華経の会座に列なり、南無妙法蓮華経と唱え佛になった。そしてこの時に父母も佛になった。つまり、尊者の身は父母の遺した身であるから、尊者が佛になることは父母も佛になること

であり、延いては縁ある全ての衆生がごとく成佛するのであると教えられています。

私たちは父と母、数えられない先祖の生命を継承した自分であることは納得できます。しかしながら、自分が佛になることによつて父母をはじめ、あらゆる縁者が佛になることをどう信ずればよいのでしょうか。

この『盂蘭盆御書』は七月十三日に治部殿うばごぜんに宛てられたご返事で、うばごぜんの孫の治部殿が大聖人さまの弟子になり、戒も持たず智慧もないが、釈迦佛を仰ぎ、法華経を信ずる人であることを絶讃されています。

つまり、自身が佛になればすくう力が備わり、その力で縁ある方々をすくうと言ふことではなく、お題目の一乗の羽によつて寂光の空を飛び、その不思議が自身に留まることなく、あらゆる方々へも及ぼされるのであると、お題目信仰の広大無辺な功德を教えられたお手紙です。

お盆はお坊さんにまかせればよい。これでは本来の意義が失われま

す。大聖人さまのお言葉に耳を傾け、自他ともに佛になるお盆、天地宇宙に遍満する一切の精霊が佛になるお盆をお題目とともにお過ごしになつて頂きたいと思ひます。

「一念三千の佛と申は法界の成佛と云う事にて候ぞ。」

津軽宇田山 閻法寺



8月15日 午後2時より
「お盆流し灯籠供養祭」
毎月 最終日曜日「盛運祈願会」
毎月 第2土曜日
午後3時より「唱題修行」

〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712

住職 工藤 堯幸
副住職 工藤 堯慎・修徒 工藤 堯顯

日蓮宗 東光山妙正寺 聖徒団



妙正寺聖徒団 高橋 礼子

8月15日(月)午前11時
「盂蘭盆施餓鬼供養会」
毎月1日午前10時「盛運祈願会」

妙正寺聖徒団 団長 関 龍雄

〒071-1423
北海道小川郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714
FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび

美濃乃國 常唱寺 聖徒団



〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 妙顕寺

日蓮大聖人御真骨奉安



齊藤日軌真首著
「日蓮宗の戒壇、その現代的意義」
♪感謝の気持ちを歌で伝えん
唱えるごとく心豊かに……♪
CD「感謝百万遍陀羅尼」
「ないないブルース」

好評発売中!

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
<http://www.sano-myokukenji.jp>

日蓮宗霊断師会会長
感通寺聖徒団団長
新聞 智雄

〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

平成二十三年 靈断師養成講習会開催される

「靈断布教の未来を切り開く精鋭が誕生」

去る六月六日から十三日、八日間の日程で宗祖日蓮大聖人のお膝元、身延山智寂坊に於いて「靈断師養成講習会」が開催された。全国各地より参加した受講者は、女性五名を含む二十三名。ご訓話を頂戴した本会名誉会長・芝崎恵暉殿下から、靈断師としての心構えと布教に対する情熱を熱く語って頂き、身の引き締まる講習会の始まりとなった。



新聞智雄会長から法具が授与される

翌朝、受講者は五時半からの身延山朝勤に参詣し、御題目弘通の尖兵としての靈断師たらんことを宗祖日蓮大聖人に誓願。教学の講義はこの後二日間に亘り、野澤壯監、齋藤朋久、廣田学良、松尾義隆、小泉輝泰各講師から「教学なくして靈断法なし」という理念と、「観念と現実の一致」の教学原理のもとに、一人一人が久遠本佛を内在した存在であり、佛の働きを現して生きていくことで、苦界に満ちた世界を浄土にしていく活現体であることを学んだ。

去る六月六日より十三日まで祖山身延智寂坊に於いて靈断師養成講習会が開催されました。不安と期待の中で迎えた初日、北は北海道をはじめ、四国は愛媛県、南は九州長崎県など、全国各地から靈断師を志す二十三名の受講生が集まりました。



講習会の模様

この後、受講者は講習会後半の靈断法実習を受講。末吉観道、三浦恵伸、石黒泰良、新聞信應各講師より靈断法術を学び、それぞれの豊富な経験をもとにした分かりやすい講義内容に感銘。夜間修行では天野行淳講師の靈断法布教体験談に共感・共鳴・共振したのである。

なお第七日目には靈断法認定試験が実施された。

最終日、総本山の朝勤に参詣した後、祖廟にて日蓮大聖人に「靈断師養成講習会」の修了と、靈断布教への精進を誓った受講者は、新聞智雄会長による「靈断師の使命」の講義を最後に有意義な講習会の全日程を終え、靈断師として全国各地へ羽ばたいていった。

感想文

北海道中標津町 妙宣寺内

東海林 旭成

去る六月六日より十三日まで祖山身延智寂坊に於いて靈断師養成講習会が開催されました。不安と期待の中で迎えた初日、北は北海道をはじめ、四国は愛媛県、南は九州長崎県など、全国各地から靈断師を志す二十三名の受講生が集まりました。

受講生は三班に分かれ当番をこなすし、班編成を超えた受講生全員が異体同心の境地、協力体制は素晴らしく思いました。教学講習、九識靈断法相伝、靈断法実習など毎日の日課を務め、思

い返しますと、アツと云う間の八日間でした。講習、実習の日課では、御法務ご多忙の中、私たちの為にお時間を割いて、限られた時間の中を解りやすくご講義下さいました教監部講師先生、また、八日間に亘り、私達のお世話をして下さいました主事先生、本当

にありがとうございました。

八日間の内容は想像していたよりも多く、奥深く一時も気が抜けない毎日、最終日の閉講式の時に『認定証』の責任の重さを改めて感じ取り、それぞれが自坊へと戻りました。

まだまだ靈断師として未熟者でございます。これからも先輩上人のご享受を頂き、伝統と意志を継承し、靈断師会の発展の為に尽力し、多くの人々の

教学・靈断法解説講師合同研修会 報告

去る四月二十日から二十一日にかけて「教学・靈断法解説講師合同研修会」が名古屋クラウンホテルで行われ、本部講師二十名が参加した。

同研修会は、本部講師が支部研修会等々に向向するにあたり、日蓮大聖人の教学と九識靈断法を正しく伝えていくことが出来るように、理念の統一と講師間の意志の疎通を図る為に毎年度おこなわれるものである。

教学は、総合研究所長・齋藤朋久師と新日蓮教学部長の小泉輝泰師を講師に、今年度の教学テーマである「日蓮教学原理」についての講義。

この「日蓮教学原理」は、日蓮佛教の根本。佛教の長い歴史の中で一大テーマであった「佛とはなにか(佛陀観)」、「どうしたら佛になれるか(成佛観)」、「佛の世界(浄土)とは如何なる所か(浄土観)」を理解することにより、どうしたら素晴らしい幸

助けとなる為に日々精進してまいりませう。

埼玉県松伏町 妙應教会内

小岩井 邦華

二年間御縁がなく、今回三年目にして地元の支部長のお奨めを頂き、日蓮大聖人の棲神の地である身延山での講習会を受講できました事、大変ありがたく感謝致しております。

九識靈断法という言葉しか知らない

平成二十三年支部長会議 報告

去る四月十九日、二十日の両日、「日蓮宗靈断師会・全国支部長会議」が名古屋市・名古屋クラウンホテルを会場に開催された。

出席者は全国三十二支部中、三十名。天野行淳組織局長による開会宣言、吉田亮善副会長の玄題三唱とご挨拶の後、会議は、まず末吉観道副会長による会長改選後の経過説明と質疑応答にはじまり、平成二十二年開催された「第四十九回理事会」の決議報告と指針説明、役員紹介とともに平成二十三年度事業大綱・布教区会議要綱説明が各局責任者よりなされた。

二日目は、総務・組織・指導・伝道・教宣各局と、総合研究所の平成二十三年度の事業説明・局員紹介が各局局長、総研副所長よりなされ、続いて歳入歳出予算・会則改正説明、各種委員指名がおこなわれた。布教区会議・支部長便覧説明では、総務局から一日伝道・清道衆講習会等の各種申し込み方法の説明の後、建総局長から本会の今後の展望が話さ

ままに受講させて頂きましたが、一週間講師の諸先生方の丁寧かつ熱心なご指導を賜り、不可思議であり、神秘である靈断法に感銘を受け、目から鱗が落ちる思いが致しました。

自分の人生を振り返りましても、思い当たることの多さに気付かされ、胸が熱くなりました。生きていくからこそ悩み、苦しみ迷いが絶えることがないと思えます。講習会で得ることが出来ました経験を胸に、これからも日々精進を重ねて参りたいと存じます。

れ、また質疑応答もおこなわれ、活発な意見の交換がなされた。

質疑応答で出されたご意見は、本部組織のありかた、事務連絡等の緊急な対応に出来る為の新事務所の設置、お守り袋等の佛具・物品の充実、教誌「よろこび」の構成等々多岐に及んだが、本部としては一つ一つの事柄に対して善処し、事業の円滑なる推進の為に体制作りをしていくことを各支部長に約束した。また、「身延大会」についても、今般の東日本大震災で被災された方々、友人、知人、佛縁ある総ての方々に對しての千燈供養と、今生かされていることへの感謝の法要を、聖徒と共に僧俗一体となつて奉行していくことを確認した。

最後に建光行総局長は謝辞で、全靈断師がよろこびと自覚を持って、一人でも多く悩める人々を救済する、という本来の布教活動が出来るよう、宗門公認に向けての日蓮宗靈断師会の組織・事業・会則の構築に邁進していくことを支部長各師に宣言して、玄題三唱をもって閉会した。

暑中お見舞い申し上げます

東日本大震災で被災された方々に改めてお見舞い申し上げます

～日蓮宗霊断師会～

〒一六二一〇〇四四
東京都新宿区喜久井町三九
日蓮宗霊断師会会長
感通寺聖徒団团长

新間 智雄

Tel 〇三三三二〇九一八七八二
Fax 〇三三三二〇八七九六六

〒九三〇〇〇五五
富山県富山市梅沢町三一六一一〇
日蓮宗霊断師会副会長
利生寺聖徒団团长

末吉 観道

Tel 〇七六四二二一八七七六
Fax 〇七六四二二一八二五〇

〒六九一〇〇四二
島根県出雲市十六島町二五二
日蓮宗霊断師会副会長
妙本寺福德聖徒団团长

吉田 亮善

Tel 〇八五三一六六〇五六八

〒二九〇〇一五一
千葉県市原市瀬又一三四一
日蓮宗霊断師会副会長
正蓮寺聖徒団团长

大塩 孝信

Tel 〇四三六一五二一〇二〇七
Fax 〇四三六一五二二二八八

〒七九四〇〇一六
愛媛県今治市中浜町四一十拾八
日蓮宗霊断師会理事会議長
日蓮宗常任布教師

讃岐 大玄

Tel 〇八九八二二二一四七
Fax 〇八九八二二一八三九

〒四六六〇八一四
愛知県名古屋市中昭和区妙見町一〇五一七
日蓮宗霊断師会理事会議長
円立寺聖徒団团长

近藤 潮賢

Tel 〇五二一八三二一九八二八
Fax 兼用

〒八七一〇七一六
大分県中津市山国町中摩六三二五
日蓮宗霊断師会総局長
真浄寺聖徒団团长

建 光行

Tel 〇九七九一六二二七三六
Fax 兼用

〒三二七〇八四三
栃木県佐野市堀米町二六四
日蓮宗霊断師会総合研究所所長
本山妙顕寺聖徒団团长

齊藤 朋久

Tel 〇二八三一三一五二四
Fax 〇二八三一三一四一九四

復興支援ありがとうございます！
〒〇二六〇〇二二
岩手県釜石市大只越町二一九一
仙寿院聖徒団团长

芝崎 惠應

Tel 〇一九三二二二一六六
Fax 〇一九三二二二一五〇

復興支援ありがとうございます！
〒〇二八〇三〇四
岩手県遠野市宮守町下宮守三一六九一
法華寺聖徒団团长

阿部 是秀

Tel 〇一九八一六七一三二六六
Fax 〇一九八一六七二二二二七

〒一〇〇一〇四二
東京都新島新島村本村三一四
長栄寺聖徒団团长

光枝 海元

Tel 〇四九九二一五〇一六八
Fax 〇四九九二一五〇一一

〒〇七一一四二三
北海道上川郡東川町東町二一六一三
日蓮宗霊断師会常任理事
妙正寺聖徒団团长

関 龍雄

Tel 〇一六六一八二二七一四
Fax 〇一六六一八二二九一四

日蓮宗霊断師会理事
妙福寺聖徒団团长

野澤 壯監

〒三二九一三三二
栃木県さくら市馬場一〇八一

〒四一九〇一一四
静岡県田方郡函南町仁田一六四一
日蓮宗霊断師会理事
慶音寺聖徒団团长

須藤 正裕

Tel 〇五五一九七八二四八九
Fax 〇五五一九七八〇七〇一

〒五一四二二二二
三重県津市高野尾町四五七五
日蓮宗霊断師会理事
圓立寺聖徒団团长

中村 公一

Tel 〇五九一三三〇〇五五七
Fax 兼用

〒六七五二二〇二
兵庫県加西市北条町栗田三三八
日蓮宗霊断師会理事
圓融寺聖徒団团长

山口 忠信

Tel 〇七九〇四二二二一八
Fax 〇七九〇四二二〇三九七

〒七二〇〇八三二
 広島県福山市水呑町一六一四
 日蓮宗霊断師会理事
 寿泉寺聖徒団団長

根師 哲朗

Tel〇八四一九五六〇一九八
 Fax兼用

〒〇三八一三二八二
 青森県つがる市木造筒木坂松本九九一
 要心寺聖徒団団長

加藤 知宏

Tel〇一七三三四五二二〇四五
 Fax兼用

〒二九八〇二六六
 千葉県夷隅郡大多喜町麻綿原一
 日蓮宗霊断師会千葉布教区長
 日蓮宗霊断師会千葉県南部支部長
 天拝園聖徒団団長

蓑輪 顕寿

Tel〇四七〇八五〇〇三三〇
 Fax〇四七〇八五〇〇六二五

〒三〇二一〇〇二六
 茨城県取手市稲字宿畑一四九七

日蓮宗霊断師会茨城県支部長
 瑞法光寺聖徒団団長

速水 壽壯

Tel〇二九七七三三六三〇五
 Fax〇二九七七三一五八二一

〒四五三二〇〇五三
 愛知県名古屋市中村区中村町字木下屋敷四七
 日蓮宗霊断師会愛知名古屋支部長
 常泉寺聖徒団団長

矢島 文昭

Tel〇五二二四二二三四六七
 Fax兼用

〒五八一〇〇八一
 大阪府八尾市南本町三二四二二六
 日蓮宗霊断師会大阪府支部長
 龍妙寺聖徒団団長

芦田 勝康

Tel〇七二一九二二五四六〇
 Fax兼用

〒八三五〇一一五
 福岡県みやま市山川町原町一四一
 日蓮宗霊断師会総務局局長
 顕忠寺聖徒団団長

松尾 義隆

Tel〇九四四一六七〇五三三
 Fax〇九四四一六七二〇七二
 日蓮宗霊断師会総務局
 Fax〇九四四一六七二九三〇



〒四六五〇〇一四
 愛知県名古屋市中東区上菅一三〇三
 日蓮宗霊断師会組織局局長
 本成寺聖徒団団長

天野 行淳

Tel〇五二二七七一一七四七四
 Fax〇五二二七七一一七五七二

〒二五六〇八一六
 神奈川県小田原市酒匂三一十七
 日蓮宗霊断師会指導局局長
 本典寺聖徒団団長

戸田 教栄

Tel〇四六五〇四七四八一三
 Fax〇四六五〇四九一三五三二

〒七二〇〇四一
 広島県福山市熊野町甲一四八一
 日蓮宗霊断師会伝道局局長
 常國寺聖徒団団長

濱田 壽教

Tel〇八四一九五九一〇〇〇六
 Fax〇八四一九五九一〇二〇六

〒六四一〇〇〇一
 和歌山県和歌山市杭ノ瀬五六一五
 知見会信行寺聖徒団団長
 和歌山県和歌山市和歌浦中三二四二二八
 知見会海禪院聖徒団団長
 日蓮宗霊断師会教宣局局長

松本 恵昌
 (顕彰会事務局)

Tel〇七三三四四七一一八九〇
 Fax〇七三三四四九一四九九六

〒五〇一四一〇一
 岐阜県郡上市美並町上田二〇八四
 日蓮宗霊断師会組織局組織部長
 妙法寺聖徒団団長

三木 一乗

Tel〇五七五二七九二〇五五
 Fax兼用

〒三二九一一二二一
 栃木県塩谷郡高根沢町大字亀梨五一四
 日蓮宗霊断師会組織局事業部長
 日蓮宗霊断師会伝道局聖徒部長

大森 映孝

Tel〇二八二八六七六一二二四七
 Fax兼用

〒〇五五〇一〇四
 北海道沙流郡平取町紫雲古津二二二七
 日蓮宗霊断師会指導局指導部長
 照恵寺聖徒団団長

品田 祥皓

Tel〇一四五七二二二二二二七
 Fax〇一四五七二二二二二七九一

〒八七九一五五〇四
 大分県由布市挾間町下市五三六
 日蓮宗霊断師会指導局講師部長
 蓮正寺聖徒団団長

飯盛 義教

Tel〇九七五八三三〇五四六
 Fax〇九七五八三三〇六九八

〒八八九一一二〇一
 宮崎県児湯郡都農町川北三七二九
 日蓮宗霊断師会伝道局聖徒部長
 龍雲寺聖徒団団長

吉田 憲由

Tel〇九八三二二五二一三三三五
 Fax兼用

〒〇三八一三一二二
 青森県つがる市木造川除栄盛七
 日蓮宗霊断師会伝道局布教部長
 七面山道円寺(芦屋の七面様)聖徒団団長

飛鳥 玄龍

Tel〇一七三二四二二二三四九
 Fax兼用

〒二九五〇〇〇二
 千葉県南房総市千倉町川合六九〇一
 日蓮宗霊断師会総合研究所新日蓮教学研究部長
 顕本寺聖徒団団長

小泉 輝泰

Tel〇四七〇四四一一〇六二
 Fax〇四七〇四四一一五二四

〒四六一〇〇〇五
 愛知県名古屋市中東区東桜二一六一四三
 日蓮宗霊断師会総合研究所九識断法研究部長
 妙泉寺聖徒団団長

石黒 泰良

Tel〇五二一九三一八四九〇
 Fax〇五二一九三一八四九一

〒八七〇〇八三四
 大分県大分市上野丘西五一五
 日蓮宗霊断師会教育部長
 妙親寺聖徒団団長

廣田 学良

Tel〇九七二五四五〇七〇八
 Fax兼用

日蓮大聖人の歩まれた道

お誕生(その三)

総合研究所教学研究部長 小泉 輝泰

梅菊が不思議な夢を見たあの晩より月日は流れ、片海(現在の小湊地域)のみならず、近隣各地ではその夢のお告げで持ちきりとなっていました。

「なんでも日天子さまの不思議なお告げを受けた女房がおるそうなの、その者はお告げと共に懐妊したと聞く」ほう、それは何とも奇異な話じゃ、そのやや子はいかなる賢者か、はては聖人のお出ましやもしれん・・・人々は口々にそう噂し、日輪の御子の誕生を今か今かと待ちわびていました。そしていよいよ月十六日、更に人々を驚かす出来事が起こり始めるのです。

その日は早朝より見事に晴れわたり、穏やかな波に旭が燦然と輝く中、梅菊はお腹の子に優しく語りかけます。「さあ、日輪の御子よ、そのお声をわれらに聞かせておくれ」そうささやくやいなや、珠のような男の子が大きな産声を上げたのです。そしてその声に応えるように、庭には突如清らかな水が湧き出しました。父貫名次郎は大変驚きながらも、その清水を汲むと、生まれたばかりの赤子の産湯としました。不思議な出来事はそればかりではありません、浜辺には時ならぬ青蓮華が次々と咲き始め、浅瀬には無数の鯛が群れをな



して集まって来るではありませんか。噂を聞きつけた人々は、この奇瑞を一目見ようと遠近各地より集まり、まるでそれは市のような賑わいでありました。

この不思議は「三奇瑞」として今に伝えられています。ことに群れをなさず深海に住むはずの鯛が、まったく正反対の生態を見せている事実は、著名な海洋学者も説明がつけられず、昭和四十二年には国の特別天然記念物として指定されました。そして現在でもこの一帯は禁漁区として、不思議な鯛の群れは大切に守られていくのです。また房州の地は石灰を多く含んだ地層ですので、通常では濁りのない清水が湧き出したり、泥土で育つはずの蓮華が咲くこととは考えられません。それは現代となっても説明することのできない、まことに不思議な出来事なのです。皆さんが日蓮大聖人さまお誕生の聖地である大本山誕生寺をお参りする折には、「蓮華ヶ淵」や「妙(鯛)の浦」などこれらの奇瑞にちなんだ名所を訪れることができます。まもなく御誕生八〇〇年を迎えようとする今、ぜひ当地を訪れ、日蓮さまお誕生の当時に思いを馳せてみてはいかがでしょう。

両親はこの珠玉のような赤子に「善日鷹」と名を授けました。このお名前が日蓮さまの最初のお名前です。ところで、「善日鷹」とは漁師の子としてはいささか仰々しいお名前と思われた方もいるかもしれません。確かに公家や武士の幼名のようにも感じられます。そこには日天子の不思議な夢、そしてお誕生にまつわる不思議な出来事を受けて、「この子はきつと、日輪のように世の中を照らす大人物となるに違いない」との両親の切なる願いがあったことでしょう。果たして父母の予見どおり、後に日蓮さまは末法の暗き世を照らす聖人として育っていかれるのです。しかし、このお名前には色々な秘密が隠されているとも伝えられています。そのお話はまた次号で。



「佛種」

梅雨が明け、太陽の恵みを身体で感じていきますか？田んぼの稲もどんどん成長しています。

日差しが強い太陽の光も山の中に身を置く事によって少し和らぎます。まして風が少しでも吹こうものなら、とても気持ち良く感じる事ができます。ふっと足元を見ると秋に咲くであろう小さな草花が目に見え込んでいます。

今月は「佛種」と云う語です。読んで字の如く、佛の種のことです。これは、成佛の種子、佛の教えという意味も含まれます。種は何もしないと、芽が出ません。種を蒔くのは田畑です。この田畑の土がシッカリ作られていれば、多少日照りが続

総合研究所・霊研主任 新聞 信應

こうとも、雨が多く降っても種は芽を出し、根を張り大きく育っていきます。

ご本佛様は私たちに佛になる種を、心の奥底に植えて下さっています。いま私たちの置かれている状況は大変厳しいものがあります。政治が混乱し、天変地異が起り、皆が悶え苦しんでいます。

しかし、私たちにはお題目があります。どんなに苦しい時でも田畑を耕すお題目の教えを忘れないで、祈り、悟り、行うお題目をお唱えし、佛種を開顕し力強い根を張って下さい。他の人が自分の心の田畑を耕すのではなく、自分自身がお題目の信仰で耕すのです。

俱生神月守のご案内

俱生神月守お申し込み要項

新規お申し込み、及び、月守体数の変更については、事務手続上、毎月五日までに連絡をお願いいたします。発送は、日蓮宗霊断師会総務局が担当していますので、お申し込み、変更等は直接ファックスで「〇九四四(六七)二九三〇」に、ご連絡ください。*新規お申し込み、体数変更の場合、お申込み体数を明記の上、郵便番号、住所、電話番号、ファックス番号、送り先・寺院名(聖徒団)団長名、以上をご記入の上、「〇九四四(六七)二九三〇」までファックス下さい。四月発送分「五月月守」より、送料は無料となりました。振込用紙(日蓮宗霊断師会総務局宛、護持献金振り込み用)を同封します。俱生神月守と同様に送付します。護持献金は今までと同様の金額です。月守りが毎月二十五日までに到着しない場合は、ご面倒でもファックスでお知らせください。確認いたします。よろしくお願い致します。

「日蓮宗霊断師会総務局」宛 ファックス番号 〇九四四(六七)二九三〇 問合せ先 〇九四四(六七)〇五三三

俱生神月守・霊断法のご案内

人にはみなそれぞれ「人生」という道がある。しかしその道の先きはよくは見えず、地図もない。この先には大きな河が横たわっているかも知れず、大岩が障害物となっているかもしれない。人は誰もそれに気づかず「今」のみを飄々と歩く。そして河に阻まれ打ちひしがれ、大岩を前に愕然とする。◆私たちが日蓮宗聖徒団には九識靈断法という秘法があります。◆これは俗に言う占いの類とは違い、日蓮大聖人のお教えから生まれた有り難い秘法です。◆カナービのように河や大岩など人生の中で進むべき道を阻む障害物を見通し、その迂回路を指し示し目的地へと導いてください。◆人事万般なんでもご相談ください。◆また聖徒団には俱生神月守という不可思議な御守があり、河の前には橋となり、大岩の前には梯子となり、困難を乗り越える力となつて護つて下さいます。◆難病を癒す不思議な護符もあります。◆充実した人生を歩むため、最寄りの聖徒団のある寺院、教会、結社へお出かけください。

佛種駒形屋 各種寺院用品取扱い・修復等もお任せ下さい 仏壇・仏具・数珠・線香・ローソク各種 お仏壇クリーニング・修復も行っております お気軽に御問合せ下さい 全国発送承ります

砥森山 法華寺 生きて救われの道場 住職 阿部 是秀 副住職 阿部 是真 〒028-0304 岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1

がんばれ日本! 正立寺 妙法寺番神聖徒団 毎月1日 午前10時 盛運祈願祭 神祕秘密の扉が開く時、必ず利益がいただける。 〒690-2404 島根県雲南市三刀屋町三刀屋1169

(株)伊藤家石材 〒070-0831 北海道旭川市旭町1条19丁目 TEL(0166)51-5017 FAX(0166)54-3272

【一級フラワー装飾技能士の店】 花キューピット JFTDフラワーギフト全国配送システム 0120-48-7722 旭川市神居3条7丁目1-7